

17 首都圏・大阪における展開に関する事項

1 首都圏における展開について

関東圏に本社を持つ企業求人情報収集をはじめ、首都圏で就職活動をおこなう在学生が安心して利用できる環境を構築するとともに学生募集や公開講座への集客に資する広報活動を展開し、関東圏における認知度向上に努める。また、関東圏在住の卒業生及び校友会支部活動の支援に尽力し、卒業生の帰属意識を高める。

●就職支援に伴う採用情報収集

公・民間問わず就職支援機関からの情報収集に努めるため、積極的に情報交換会等に参加し、新規企業の開拓は勿論、旧来からの企業採用担当者とのさらなる関係強化に努める。また、キャリア開発部との連携のもと情報収集だけではなく、内定お礼による企業訪問も積極的におこなう。

●広報・学生募集

入試部と連携し、関東圏の大学に入学する場合においても下宿を余儀なくされる関東エリアの高等学校を中心に訪問活動をおこない出願者の増員に努める。学長室(広報)、入試部と緊密な連携のもと、さらなる認知度向上に努める。

●校友会支部支援と卒業生との交流

校友会組織で関東圏に支部を持つ、東京支部と神奈川県支部開催行事への支援並びに各支部会員の増員に向けた広報活動を積極的におこない、各支部の活性化に努める。また、首都圏で活躍する卒業生との交流を密にし、在学生に対する就職支援や卒業生間のネットワーク構築の拡充に努める。

2 大阪における展開について

大阪梅田キャンパスでは、大阪梅田という立地を最大限活かした様々な施策として、大阪地域における①在学生・卒業生に対するキャリア・就職活動支援の実施、②エクステンション事業の推進、③入試広報活動の展開、④大阪梅田キャンパスの施設を活用した「講演会・学会・研究会」等を開催する。これら本学の特色ある多様な事業展開を実施することで大阪地域における知名度向上とブランドイメージの構築をめざす。

●キャリア・就職活動の支援

「就職に強い大学」の実現をめざすべく、大阪地域にお

けるキャリア・就職活動支援のワンストップサービスをおこなうとともに、模擬面接・模擬グループディスカッション・エントリーシートの書き方・自己分析の仕方・企業研究の仕方・志望動機の書き方等の各種就職活動対策セミナーを積極的に実施する(利用学生数はのべ19,000名程度を想定している)。あわせて大阪梅田キャンパスで会社説明会(年間約240社)を随時開催し、学生と企業とのマッチングを図る。また、各都道府県と合同でU・Iターン就職支援事業を展開し、近畿圏以外の求人情報の収集や企業開拓を積極的におこなう。

●エクステンション活動

大阪地域の住民を対象とした生涯学習事業として、「仏教」「こころ」「文化」「歴史」「文学」のテーマをはじめ、龍谷大学の特色を活かした豊富なジャンルの生涯学習講座(約50講座)を開催する。講座ジャンルの拡大に向け、大阪府内で実施されている、他大学・カルチャースクール・地方公共団体等の生涯学習事業を調査し、地域ニーズに応じた講座の開発をおこなう。あわせて、新たな受講者層獲得手段として、企業で働く社会人を対象にした講座の開発をおこなう。産官学連携事業として、大阪中小企業家同友会と共催している『オンリーワン研究会』や、本学卒業の経営者層を対象とした『龍谷大学経営者ビジネスミーティング』等の異業種交流会を支援し、企業や卒業生とのネットワーク構築を図る。また、他大学の大阪サテライトにおけるエクステンション活動の調査・分析をおこなうとともに、クリエイション・コア東大阪との役割分担を明確にした、大阪梅田キャンパス積極活用策を検討する。

●入試広報活動

アクセスの良さを生かし、学校帰りの受験生や仕事帰りの保護者を対象とした入試相談会を充実させるとともに、入試部と大阪梅田キャンパスをskype(インターネット回線を利用)で結ぶことで、随時、入試相談をおこなえる環境を構築し運用する。また、10月以降は、入試直前対策講座を実施することで、受験生への訴求力を高めるなど、出願者数増に結びつけるための支援をおこなう。さらに、志願者に適切な進路指導がおこなえるよう、大阪府内全域および近隣府県の高校、塾・予備校の教職員向けに、本学における入試制度や新たな取り組みへの理解度を高める入試説明会を実施する。あわせて、大阪府下の高校、塾・予備校の受験者志望動向をリサーチし、定期的に訪問するなど良好な関係の強化に努める。

●講演会・学会・研究会等の実施

大阪梅田キャンパスの貸出対象施設となっている、「研修室」「セミナールーム」において、各種講演会・学会・研究会・研修会等の開催を支援する体制を整える。また、ビデオ会議システムの導入に伴い、キャンパス間での会議・学会・研究会等において積極的な活用を図る。

